

# Model G

(下水道事業における長期収支見通しの推計モデル)

- 活用方法 -



国土交通省

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 管理企画指導室

# 目次

I.	下水道事業推計モデルとは	3
II.	概算モデルの使い方	11
III.	詳細モデルの使い方	17
IV.	戦略モデルの使い方	25
V.	よくあるご質問	45
VI.	参考資料	47

# 下水道事業推計モデルとは (1/5)

下水道事業における長期収支見通しの推計モデル(以下、「Model G」という)は、下水道事業の将来の事業収支の傾向を予測し、経営的な視点から下水道事業の健全性を分析するためのツールです。

## — 背景 —

我が国における各自治体の下水道事業は、昨今の少子高齢化等による収入減少や施設の老朽化に伴う改築更新増、投資負担の増大等により、厳しい経営環境に直面しています。漠然とした危機感を抱くだけでなく、まずは長期の収支見通しを定量的に把握することが経営の健全化に向けて重要と考えModel Gの構築に至りました。

## — 本モデルの目的 —

- 上記背景を踏まえ、下水道事業経営における健全な経営及び適正かつ効率的な維持管理を実現するため、簡易な数値の入力のみで現状把握を行うことができる推計モデルを構築しました。
- 推計結果を踏まえ、使用料値上げ等を行った場合の収支を試算することも可能であり、経営改善施策の検討の一助になると期待されます。

## 下水道事業推計モデルとは (2/5)

本モデルは、下水道事業の長期的な傾向を捉えるという目的から一定の仮定を置いて算出するものであり、この仮定の置き方により推計結果に差異が生じうる点、ご注意ください。

### 使用上の留意点

- 本モデルの推計結果は、傾向を捉えるという目的の下、過去数値に基づいて一定の仮定を置いて算出されるものです。全自治体について動作確認を行ってはいませんので、推計結果の精度・妥当性については、各市町村の下水道担当部局において適宜ご判断いただく必要があります。

#### 基本的前提

- ✓ 過去数値は、「公営企業年鑑」の数値を使用しております。
  - ✓ 公営企業年鑑の「公共下水道」を対象としているため、一部の市町村においては推計結果が表示されない場合があります。
- 本モデルは、マイクロソフト社が提供するMicrosoft Excelで動作するものであり、開発はMicrosoft Excel for Microsoft 365（バージョン2301）で行っております。

# 下水道事業推計モデルとは (3/5)

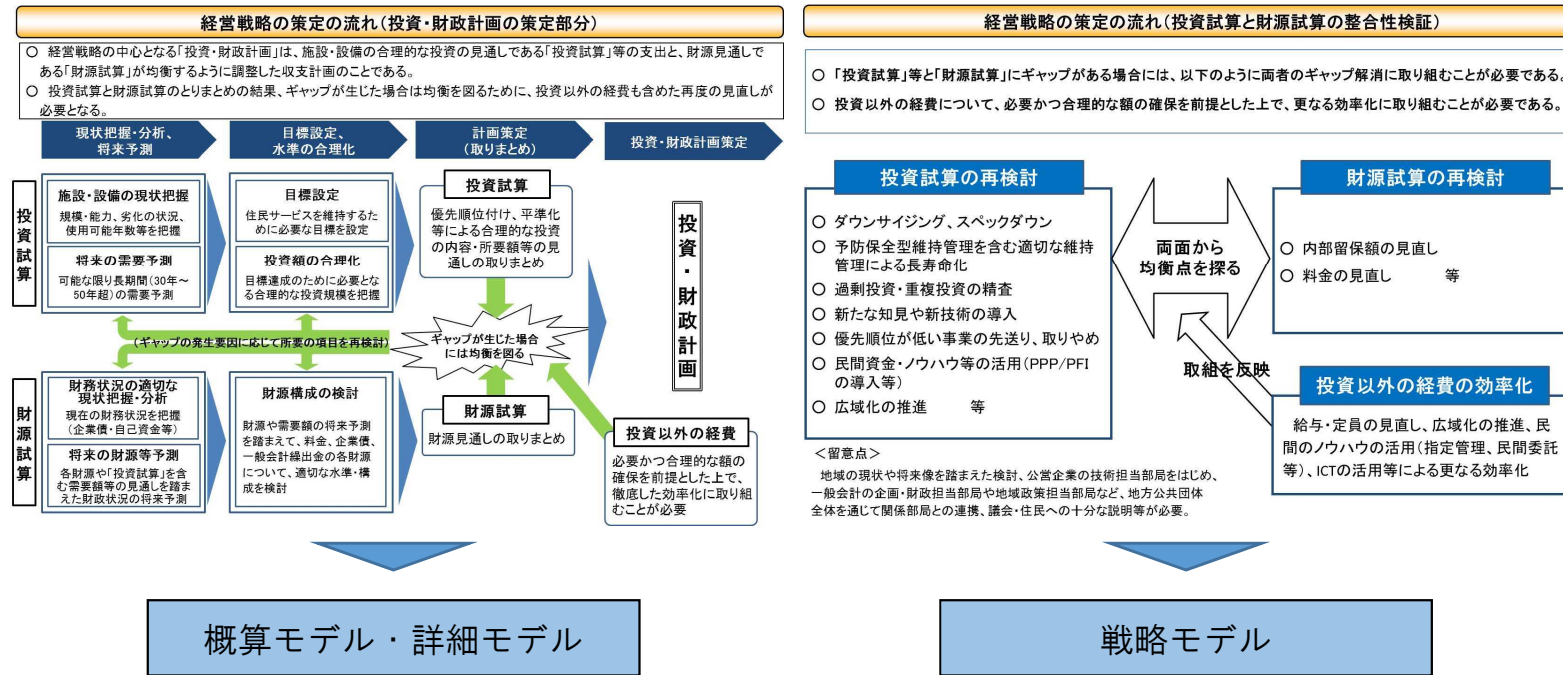
各自治体の目的や利用場面に応じ、概算モデル、詳細モデル、戦略モデルの3つのモデルを選択することが可能です。

## 各モデルの詳細

ステップ	モデル	作業負担	位置づけ・目的	利用場面例
ステップ①-1 現状把握	概算 モデル	なし (市町村の 選択のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自動計算方式モデル</li> <li>✓ 初期的なあたりをつけるための概算収支の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各自治体の担当者が、<b>初期的に将来収支を把握</b>したい場合</li> </ul>
ステップ①-2 将来予測	詳細 モデル	小 (将来数値 の入力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自動計算+各種数値の手動調整方式</li> <li>✓ 将来計画を策定するための基礎となる収支の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各自治体が、<b>庁内協議にあたって基礎となる将来収支(成行きベース)を作成</b>したい場合</li> </ul>
ステップ② 戦略を実施 した場合の 将来目標	戦略 モデル	中 (将来目標 の検討)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 将来計画や改善施策を反映した収支の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各自治体が、下水道経営の健全化を目指し、<b>経営戦略等を検討</b>したい場合</li> </ul>

# 下水道事業推計モデルとは (4/5)

## 総務省「経営戦略策定・改定マニュアル」との連携活用について



『経営戦略策定・改定マニュアル』(P9)に、『経営戦略の策定の流れ(投資・財政計画部分)』と『経営戦略の策定の流れ(投資試算等と財源試算の整合性検証)』が記載されています。

本モデルは、上記計画の考え方に沿う形で、3つのモデルを選択可能としています。「投資試算」および「財源試算」については、本モデルの「概算モデル」および「詳細モデル」を活用いただくことで検証が可能となります。再検討については、本モデルの「戦略モデル」を活用いただくことで検討が可能となります。

# 下水道事業推計モデルとは (5/5)

本モデルは、モデルの全体に関わるナビゲーションシート・前提シート、推計結果を確認するための概要シート・出力シート、数値の入力を行う入力シート、数値の参照や計算を行う転換シート・計算シートで構成されます。

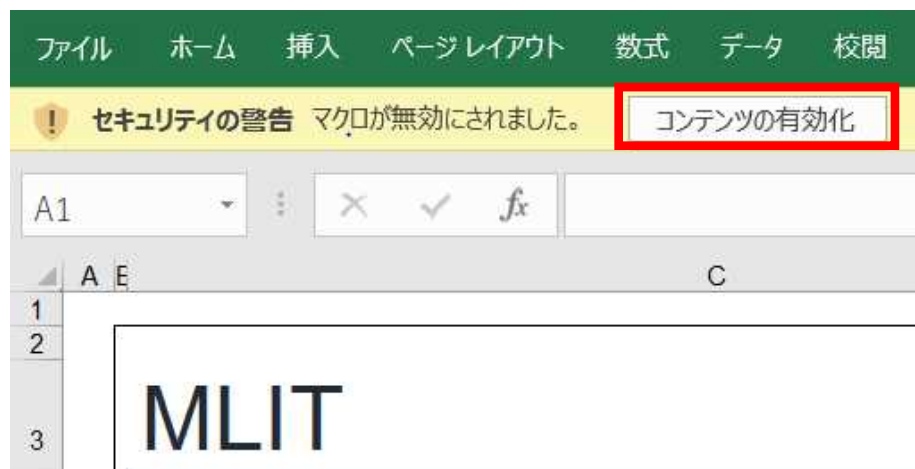
## 各シートの構成

シート名	概要
ナビゲーションシート	本モデルの全体像の把握・表示倍率の変更などを行うシート (各シートをクリックしていただくことで、該当シートに移動することができます。)
全体前提シート	市町村の選択・主要前提の入力を行うシート
概要シート	モデルの選択・推計結果の確認を行うシート
出力シート	3条収支及び4条収支の予測数値を確認するシート
入力シート	詳細モデル・戦略モデルにおいて数値の入力を行うシート
転換シート	数値を参照するシート (本シートは作業・参照いただく必要はありません)
計算シート	出力のための計算シート (本シートは作業・参照いただく必要はありません)

# ① ご使用の前に

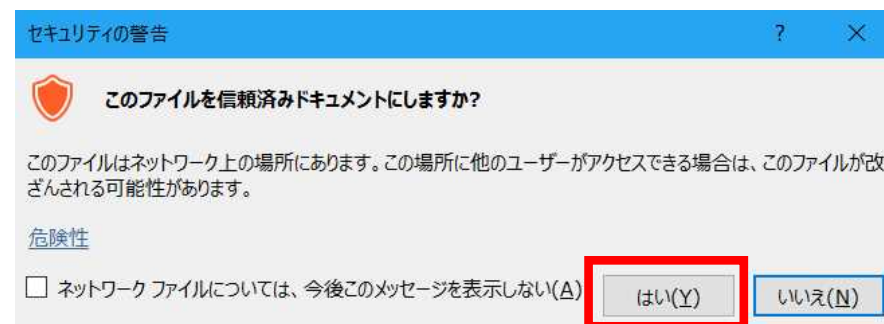
本モデルではマクロを使用していることから、「コンテンツの有効化」をクリックしたうえで、「信頼済みドキュメント」にしてからご利用ください。

## コンテンツの有効化



ファイルを開けると、画面の上部に「セキュリティの警告」と書かれたバーが表示されます。「コンテンツの有効化」をクリックしてください。

## 信頼済みドキュメントにする



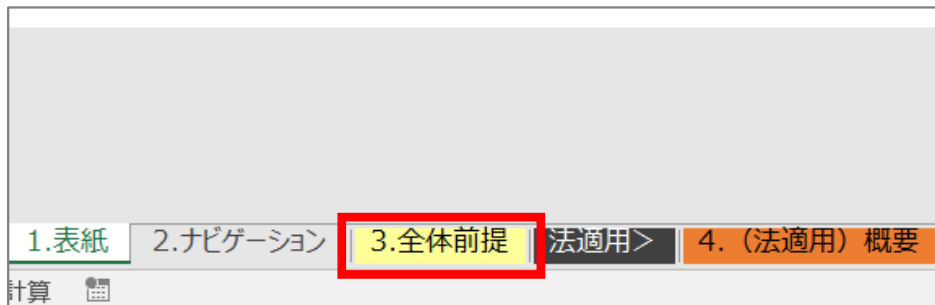
「コンテンツの有効化」をクリックすると、上記のポップアップが表示されます。右下部分の「はい」をクリックしてください。



## ② 都道府県・市町村の選択

「3.全体前提」シートにおいて、貴自治体の都道府県及び市町村を選択してください。

概要シートへ移動



前ページの作業が完了したら、  
「3.全体前提」シートに移動してください。

市町村の選択

Model G				
MLIT - DRAFT MODEL - Model Testing Incomplete				
3.全体前提				
西暦	OK	対象地域	2013	
期間ラベル		都道府県	0	実績
開始日		市町村	0	2013/1/1
終了日				2013/12/31
期間番号				1
予測フラグ			49	FALSE
単位: 千円 (明記されていない限り)				
	チェック	単位	行合計	定数
分析対象				
都道府県		テキスト		Gen.Precture.S
市町村		テキスト		Gen.Cities.Sel

「3.全体前提」シート左上部分の太線で囲ったセルで  
「都道府県名」と「市町村名」が選択できます。  
貴自治体の都道府県名と市町村名を選択してください。

### ③ 法適用・法非適用の確認

対象団体が法適用か法非適用かを確認のうえ、以降の作業では法適用であれば(法適用)、法非適用であれば(法非適用)と記載されたシートをご利用ください。

※貴自治体が法適用の場合、(法非適用)と書かれたシートで作業いただく必要はありません。また、貴自治体が法非適用の場合、(法適用)と書かれたシートで作業いただく必要はありません。

#### 法適用・法非適用の確認

Model G				
MLIT - DRAFT MODEL - Model Testing Incomplete				
3.全体前提				
西暦	OK	対象地域	2013	
期間ラベル		都道府県	0	実績
開始日		市町村	0	2013/1/1
終了日				2013/12/31
期間番号				1
予測フラグ		49		FALSE
単位: 千円 (明記されていない限り)	チェック	単位	行合計	定数
分析対象				
都道府県		テキスト		Gen.Precture.S
市町村		テキスト		Gen.Cities.Sel

ここをクリック

都道府県・市町村を選択すると、太線で囲ったセルに貴自治体が法適用・法非適用いずれに該当するかが表示されます。

表示箇所をクリックすると、貴自治体で作業いただくシートに移動します。

#### 法適用の場合

#						1
3.全体前提	法適用>	4.(法適用)概要	5.(法適用)出力	6.(法適用)入力	7.(法適用)	

この「法適用>」より右のシートをご利用ください

#### 法非適用の場合

千円						
千円						
千円						
	法非適用>	4.(法非適用)概要	5.(法非適用)出力	6.(法非適用)入力	7.(法非適用)...	

この「法非適用>」より右のシートをご利用ください

# 概算モデルの使い方

# 概算モデルの概要

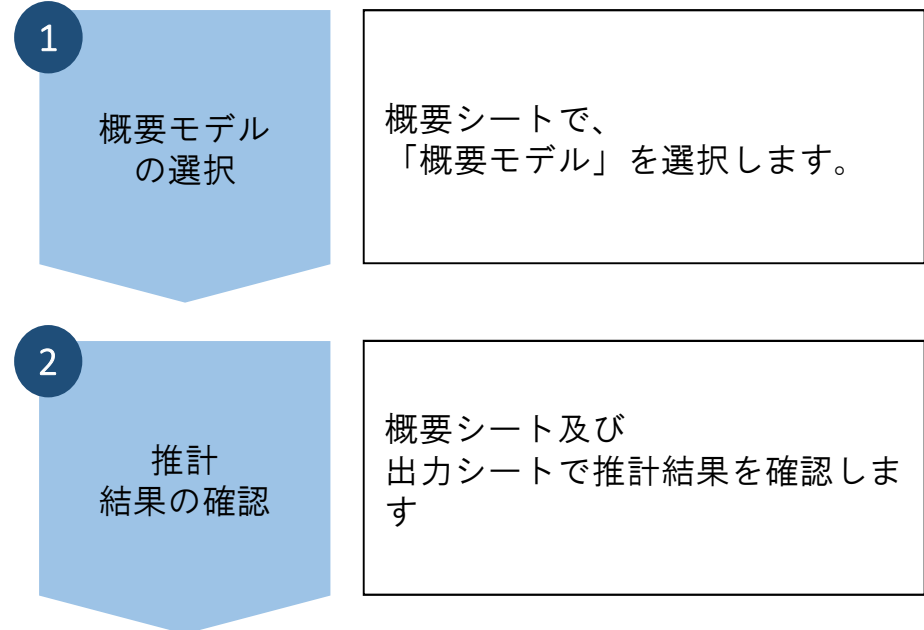
概算モデルとは、成行きベースでの傾向を把握するために将来収支の推計を行うものであり、容易かつ利用者負担の小さいモデルになっています。

## 概算モデルの概要

	作業負担	モデルの目的
概算モデル	負担：無	初期的なあたりをつけるための概算収支の把握
詳細モデル	負担：小	将来計画を策定するための基礎となる収支の把握
戦略モデル	負担：中	将来計画や改善施策を反映した収支の把握

概算モデルは、移動三年平均を基本とし、将来推計人口、インフレ率を反映したモデルです。また、当モデルは市町村の選択のみで事業収支が出力できる利用者負担の少ないモデルです。初期的なあたりをつけるために使用します。

## 概算モデルの作業の流れ



# ① 概算モデルの選択

概要シートで「概算モデル」を選択してください。

## 概要シートへの移動



モデル方式・表示期間の選択のため、  
概要シートに移動してください。

法非適用の場合は「4.(法非適用)概要シート」  
になります。

## 概算モデル・表示期間の選択

**設定管理**  
\*黄色セルの前提条件を変更ください

	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定番号	1	1	2	3
設定名称	概算	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	減価償却	減価償却	手入力	手入力
収 長期前受金戻入(新規)	減価償却	減価償却	手入力	手入力
支 管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値

}

工事負担金(財源内訳)	一致	一致	一致	手入力
他会計繰入金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力

**チャート設定**  
\*表示する期間を選択ください ⇒⇒⇒

2021年	~	2069年
-------	---	-------

概要シート右上の「設定管理」にある設定番号で  
「1」を選択してください。  
設定名称の部分に「概算」と表示されます。

また、グラフの表示期間を変更する場合、  
「チャート設定」にて表示期間を選択してください。



## ② 推計結果の確認 (2/3)

各項目について詳しく確認する場合は、出力シートに移動してください。

出力シートへの移動

1.02	100
法適用>	4. (法適用) 概要
	<b>5. (法適用) 出力</b>
	6. (法適用) 入力

概要シートから、出力シートに移動してください。  
法非適用の場合は「5. (法非適用) 出力シート」になります。

各項目の数値の確認

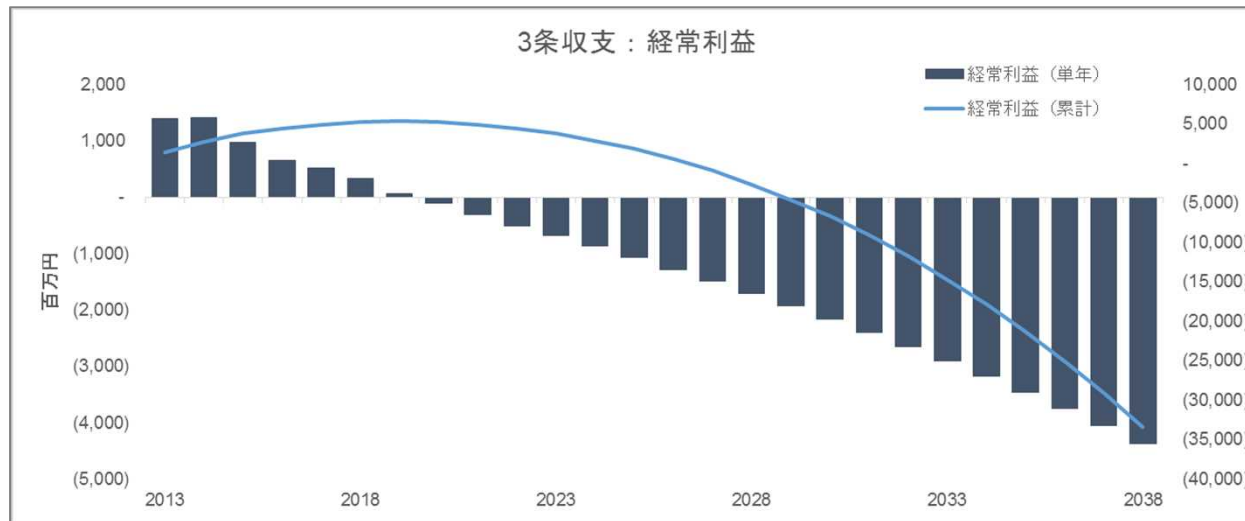
3条 収支															
総収益	円/年	*****	38,336,583	38,454,267	38,397,889	38,174,698	37,883,006	37,762,277	37,602,507	37,415,088	37,225,919	37,038,883	36,852,908	36,667,852	36,483,737
下水道使用料	円/年	*****	28,524,040	28,376,445	28,078,075	26,992,853	26,482,458	26,517,795	26,564,369	26,554,874	26,579,013	26,599,410	26,577,768	26,585,400	26,587,529
受託事業収益(営業収益)	円/年	*****	24,020	223,725	38,164	62,170	74,087	58,340	65,086	66,031	63,148	64,747	64,641	64,178	64,522
その他(営業収益)	円/年	*****	830,323	727,097	734,652	734,002	734,002	734,502	734,002	734,002	734,002	734,002	734,002	734,002	734,002
営業収益	円/年	*****	68,715,669	65,741,645	65,278,131	66,023,722	65,334,152	65,162,415	65,125,943	64,828,996	64,661,980	64,497,061	64,289,317	64,111,432	63,929,711
営業利益及び配当金	円/年	*****	487,826	11,724	11,788	4,795	11,268	9,283	8,449	8,667	9,133	9,083	9,294	9,170	9,182
受託事業収益(営業外収益)	円/年	*****	108,877	11,355	318	82	3,918	1,439	1,813	2,390	1,881	2,028	2,100	2,003	2,044
固定資産売却益	円/年	*****	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資産減損益	円/年	*****	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
貸倒損失控除	円/年	*****	40,304,784	765,213	824,117	808,738	799,356	810,737	806,277	805,457	807,490	806,408	806,452	806,783	805,548
固定資産売却益	円/年	*****	-	15,447,044	15,806,881	16,140,874	16,520,501	16,919,790	17,330,814	17,769,814	18,204,258	18,673,422	19,171,498	19,683,718	20,225,395
固定資産減損益	円/年	*****	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
貸倒損失控除	円/年	*****	23,395,197	470,650	493,651	490,430	484,914	482,099	472,781	468,898	467,559	469,079	467,845	468,951	468,362
営業外収益	円/年	*****	1,268,452	16,717,916	17,116,308	17,456,336	17,884,859	18,208,886	18,615,225	18,946,977	19,480,896	19,961,113	20,493,613	20,969,841	21,511,279
繰上控除入金	円/年	*****	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
固定資産売却益	円/年	*****	282,653	17,335	206,480	58,238	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(繰上控除)	円/年	*****	981,170	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別収益	円/年	*****	1,008,105	206,480	58,238	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰上控除	円/年	*****	70,888,157	82,665,941	82,447,295	83,444,652	83,138,111	83,371,501	83,741,168	83,875,172	84,152,836	84,458,174	84,746,938	85,081,286	85,441,157
総費用	円/年	*****	4,422,562	4,176,015	3,992,259	4,196,945	4,121,740	4,103,648	4,140,778	4,122,055	4,122,160	4,128,331	4,124,192	4,124,891	4,125,801
人件費	円/年	*****	2,931,039	2,723,769	2,588,072	2,648,293	2,548,711	2,487,026	2,601,910	2,521,916	2,526,317	2,538,414	2,522,548	2,522,760	2,524,808
経理費	円/年	*****	14,796,212	15,148,077	15,368,400	15,407,863	15,641,747	15,806,003	15,818,538	15,888,763	15,704,434	15,679,578	15,687,925	15,687,648	15,682,050
受託事業費(営業費用)	円/年	*****	2,577,343	24,020	223,725	38,164	62,170	74,087	58,340	65,086	66,031	63,148	64,747	64,641	64,178
減価償却	円/年	*****	20,118,147	20,446,673	20,539,917	20,596,787	20,629,399	20,642,016	20,648,225	20,649,882	20,650,602	20,651,271	20,651,891	20,652,461	20,653,000
減価償却費	円/年	*****	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118	2,521,118
固定資産売却益	円/年	*****	359,010	389,034	387,737	378,894	385,522	384,051	382,822	384,131	383,688	383,540	383,789	383,663	383,651
固定資産減損益	円/年	*****	1,687,803	18,570	23,185	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876	33,876
営業費用	円/年	*****	58,218,615	60,629,648	70,446,803	71,471,269	72,184,520	73,333,669	74,400,434	75,482,241	76,577,137	77,678,527	78,785,514	80,484,929	81,888,868
支出超過	円/年	*****	6,318,683	6,817,554	6,242,865	6,793,034	6,817,818	6,951,239	6,854,030	6,807,996	6,804,322	6,822,916	6,811,344	6,812,561	6,815,307

出力シートでは、3条収支及び4条収支に関するすべての項目の2069年までの数値を確認することができます。

## ② 推計結果の確認 (3/3)

特に概要シートの経常収支が下記のような減少の傾向になっている場合、本マニュアルのP31以降の活用方法を参考に打ち手について検討してください。

### 経常収支の推移



上記のようなトレンドの場合、  
長期的に下水道事業が厳しい状況になる可能性が考えられます。  
その状況を解決するための方策がP31以降に示されているため、  
そちらを参考に改善策や経営の健全化に向けた検討を進めてください。



# 詳細モデルの使い方

# 詳細モデルの概要

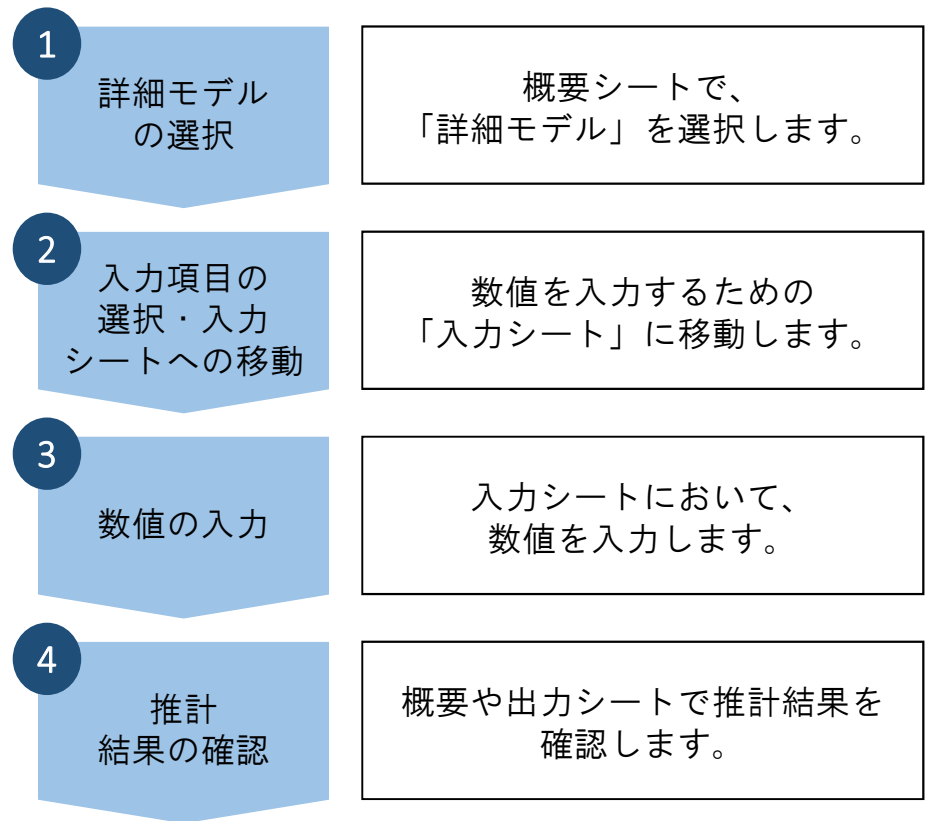
詳細モデルでは、数値を入力することでより精緻な将来予測が可能になります。

## 詳細モデルの概要

	作業負担	モデルの目的
概算モデル	負担：無	初期的なあたりをつけるための概算収支の把握
詳細モデル	負担：小	将来計画を策定するための基礎となる収支の把握
戦略モデル	負担：中	将来計画や改善施策を反映した収支の把握

詳細モデルは、概算モデルをベースとし、各自治体で把握している数値に修正いただくことで、精緻な将来予測の数値を出力するモデルです。将来計画を作成する基礎となる収支を把握することができます。

## 詳細モデルの作業の流れ



# 1 詳細モデルの選択

概要シートにおいて、「詳細モデル」を選択してください。

## 概要シートへの移動



モデル方式・表示期間の選択のため、概要シートに移動してください。

法非適用の場合は「4. (法非適用) 概要シート」になります。

## 詳細モデルの選択

**設定管理**  
\*黄色セルの前提条件を変更ください

	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定番号	2	1	2	3
設定名称	詳細	概算	詳細	戦略

3 使用料単価

	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値

工事負担金(財源内訳)

	一致	一致	一致	手入力
工事負担金(財源内訳)	一致	一致	一致	手入力
他会計繰入金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力

**チャート設定**

\*表示する期間を選択ください ⇒⇒⇒ 2021年 ~ 2069年

概要シート右上の「設定管理」にある設定番号で「2」を選択してください。  
設定名称の部分に「詳細」と表示されます。

また、グラフの表示期間を変更する場合、「チャート設定」にて表示期間を選択してください。

## 2 入力項目の選択・入力シートへの移動

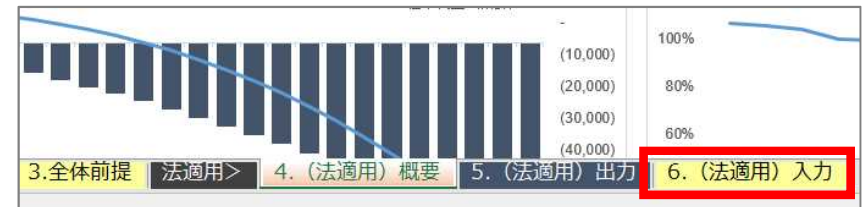
概要シートにて手入力をする項目の選択及び一部の項目の入力を行った後、数値を入力するための「入力シート」へ移動してください。

### 入力する項目の選択

3 収支	使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
	長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
	長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	減価償却	手入力
	管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
	ポンプ場費	平均値	平均値	手入力	平均値
	処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
	業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
	総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
	減価償却費(既存資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
	減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 収支	国庫補助金(上限割合)	0%上限	50%上限	0%上限	仮定
	国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
	建設改良費				
	管渠(投資)	平均値	平均値	平均値	手入力
	ポンプ場(投資)	平均値	平均値	平均値	手入力
	処理場費(投資)	平均値	平均値	平均値	手入力
	企業債計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
	<small>(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年限が必要になります。)</small>				
	既存企業債償還(詳細手法)	簡易計算	簡易計算	簡易計算	手入力
	雨水処理負担金(営業収益)	平均値	平均値	平均値	手入力
受託工事収益(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値	

概要シートの右上部分、設定管理の画面において入力する項目について、手入力を選択してください。また、建設改良費における補助金割合や国庫補助金の上限に関する項目は概要シートにて入力ください。

### 入力シートへの移動



数値を入力するための「(法適用or法非適用)入力」シートをクリックしてください。法非適用の場合は「6.(法非適用)入力」シートになります。

### 3 数値の入力

「入力シート」において、単位に注意して黄色のセルに数値を入力してください。  
入力間違いがないかをシート左上の入力ミス等のチェックで確認してください。

#### 数値の入力

3条収支：総収益（営業収益）			
下水道使用料（使用料単価）			
使用料単価			
計算方法名称	テキスト	直近実績	
計算方法	1/3	3	Switch.Income.Sewage.Price.In
1 一回調整			
増加年	年	2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In
増加金額	+/- 円 / m3	15.0	Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In
2 微調整	+/- 円 / m3	-	-
3 直近実績	円 / m3	-	-
受託工事収益			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.Cons.In
1 平均値	千円	9,695,713	
2 手入力	千円	-	-
受託工事収益（営業外収益）			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.ConsOther.In
1 平均値	千円	-	-
2 手入力	千円	-	-
国庫補助金			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.GovSubsidy.In
1 平均値	千円	65,543	
2 手入力	千円	-	-

⋮

太線に囲われたセルに示された項目  
（モデルでは黄色のセルになります）に  
数値を入力してください。  
単位は千円であることに注意してください。

#### 入力ミス等のチェック

Model G			
MLIT - DRAFT MODEL - Model Testing Incomplete			
6. (法適用) 入力			
西暦		OK	対象地域
期間ラベル			都道府県
開始日			大阪市
終了日			2013/1/1
期間番号			2013/12/31
予測フラグ			2014/1/1
			2015/1/1
			2015/12/31
			1
			2
			3
単位：千円（明記されていない限り）	チェック	単位	行合計
			定数
3条収支：総収益（営業収益）			
下水道使用料（使用料単価）			
使用料単価			
計算方法名称	テキスト	直近実績	
計算方法	1/3	3	Switch.Income.Sewage.Price.In
1 一回調整			
増加年	年	2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In
増加金額	+/- 円 / m3	-	Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In
2 微調整	+/- 円 / m3	-	-
3 直近実績	円 / m3	177.0	-
（参考）使用料単価の計算結果			
1 一回調整	円 / m3	178.8	178.0
2 微調整	円 / m3	178.8	178.0
3 直近実績	円 / m3	178.8	177.0

入力シート左上のG4セルが「OK」と  
表示されていれば、入力に問題は  
ありません。  
「ERROR」と表示された場合には  
再度入力内容を確認してください。

## 4 (参考) エラーが発生した場合の対処法

エラーが発生した場合には、エラーが発生したシートをナビゲーションシートで特定し、当該ページにおいて修正してください。

### 入力する項目の選択

#### 入力ミス等のチェック

右セルがOKであれば、下記の各項目に異常はございません。

人口前提	TRUE
建設用途=財源調達(適用)	TRUE
企業債前提確認	TRUE
(去適用)転換	TRUE
(去適用)2013年実績	TRUE
(去適用)2014年実績	TRUE
(去適用)2015年実績	TRUE
(去適用)2016年実績	TRUE
(去適用)2017年実績	TRUE
(去適用)2018年実績	TRUE
(去適用)2019年実績	TRUE
建設用途=財源調達(非適用)	TRUE
地方債前提確認	TRUE
(去非適用)転換	TRUE
(去非適用)2013年実績	TRUE
(去非適用)2014年実績	TRUE
(去非適用)2015年実績	TRUE
(去非適用)2016年実績	TRUE
(去非適用)2017年実績	TRUE
(去非適用)2018年実績	TRUE
(去非適用)2019年実績	TRUE

この項目がエラーになっている場合、建設改良費と建設費の財源内訳の合計が異なっている年度があります。

この項目がエラーになっている場合、起債の発行割合が100%を超えている場合があります。

### 入力内容の修正

#### 建設改良の資金使途・調達

管渠費	千円	564,527,415	6,821,122	6,651,188	6,585,469	6,685,926	7.
ポンプ場費	千円	245,761,191	949,165	1,668,706	4,400,651	2,339,507	3.
処理場費	千円	538,501,124	7,506,586	7,792,294	4,952,761	6,750,547	7.
流域下水道建設費負担金	千円	-	-	-	-	-	-
建設利息	千円	-	-	-	-	-	-
その他(建設改良費)	千円	4,817,052	24,193	22,600	91,168	45,987	-
建設改良費	千円	1,353,606,782	15,301,066	16,134,788	16,030,049	15,821,968	11
企業債	千円	594,819,753	9,292,000	10,345,000	10,044,000	6,104,950	6.
国庫補助金	千円	665,438,529	4,396,180	3,995,747	3,976,224	7,910,922	8.
都道府県補助金	千円	-	-	-	-	-	-
工事負担金	千円	54,574,179	907,934	1,026,307	1,203,743	1,045,995	1.
他会計繰入金	千円	32,400	-	-	675	675	-
その他(建設改良費の財源内訳)	千円	38,741,860	704,952	767,734	805,407	759,364	-
建設改良費の財源内訳	千円	1,353,606,720	15,301,066	16,134,788	16,030,049	15,821,906	11
資金使途・調達差額							62
使途=調達チェック	FALSE	Teki Check SU	TRUE	TRUE	TRUE	FALSE	

債券1	発行割合	%	100.0%	Teki CorpDebt N1 Ratio In
	発行金額	千円	9,896,000	10,386,000
	利率	%	0.65%	Teki CorpDebt N1 InterestRate In
	償還年	年	20	Teki CorpDebt N1 Duration In
債券2	発行割合	%	-	Teki CorpDebt N2 Ratio In
	発行金額	千円	-	-
	利率	%	0.65%	Teki CorpDebt N2 InterestRate In
	償還年	年	20	Teki CorpDebt N2 Duration In
債券3	発行割合	%	-	Teki CorpDebt N3 Ratio In
	発行金額	千円	-	-
	利率	%	0.65%	Teki CorpDebt N3 InterestRate In
	償還年	年	20	Teki CorpDebt N3 Duration In
債券4	発行割合	%	-	Teki CorpDebt N4 Ratio In
	発行金額	千円	-	-
	利率	%	0.65%	Teki CorpDebt N4 InterestRate In
	償還年	年	20	Teki CorpDebt N4 Duration In
	割合チェック	TRUE	Check Teki CorpDebt	

ナビゲーションシートにおいて、エラーが発生している部分を確認してください。

(非適用においても同様です。)

① 「建設用途=財源調達」がエラーの場合、「5.出力」シートに移動し、どの年度に入力ミスがあるかを確認し、入力を修正してください。

② 「企業債前提確認」がエラーの場合、「6.入力」シートに移動し、それぞれの債券割合の合計が100%になるように調整してください。

# 5 推計結果の確認

概算モデルと同様に、概要には主要な項目の数値および図表が表示され、出力シートにはすべての項目の数値が表示されます。

## 概要シート

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
総収入	1,391	1,398	1,407	1,416	1,426	1,436	1,446	1,456	1,466	1,476	1,486	1,496	1,506	1,516	1,526	1,536	1,546	1,556
総支出	1,391	1,398	1,407	1,416	1,426	1,436	1,446	1,456	1,466	1,476	1,486	1,496	1,506	1,516	1,526	1,536	1,546	1,556
経常収支	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3年連続・経常収支

経常収支比率

概要シートを選択し、重要項目の予測数値や主要指標の図表を確認してください。

## 出力シート

項目	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
総収入	1,391	1,398	1,407	1,416	1,426	1,436	1,446	1,456	1,466	1,476	1,486	1,496	1,506	1,516	1,526	1,536	1,546	1,556
総支出	1,391	1,398	1,407	1,416	1,426	1,436	1,446	1,456	1,466	1,476	1,486	1,496	1,506	1,516	1,526	1,536	1,546	1,556
経常収支	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

出力シートを選択し、各項目のより精緻な数値を確認してください。

# 手入力項目の入力項目について

手入力が必要となる手入力シートには、下記の前提のもと当該数値を入力するようにしてください。

項目名	手入力内容
使用料単価	当該年度の使用料単価の増加金額
受託工事収益	当該年度の受託工事収益
受託工事収益 (営業外収益)	当該年度の受託工事収益 (営業外収益)
国庫補助金	当該年度の国庫補助金
都道府県補助金	当該年度の都道府県補助金
他会計補助金	当該年度の他会計補助金
長期前受金戻入	既存分及び新規分
他会計繰入金	基準内繰入金および基準外繰入金
固定資産売却益	当該年度の固定資産売却益
管渠費	当該年度の管渠費
ポンプ場費	当該年度のポンプ場費
処理場費	当該年度の処理場費
業務費	当該年度の業務費
総経費	当該年度の総経費
減価償却	①当該年度の既存資産の減価償却費 ②当該年度の新規管渠の減価償却費 ③当該年度のポンプ場の減価償却費 ④当該年度の処理場の減価償却費 ⑤耐用年数 (ポンプ場以外) ⑥耐用年数 (ポンプ場)

項目名	手入力内容
固定資産売却代金	当該年度の固定資産売却代金
国庫補助金	補助上限のパーセント数
都道府県補助金	当該年度の都道府県補助金
工事負担金	当該年度の工事負担金
管渠 (投資)	当該年度の管渠費 (設備投資)
ポンプ場 (投資)	当該年度のポンプ場費 (設備投資)
処理場 (投資)	当該年度の処理場費 (設備投資)
既存債券	①利子率 ②債券種類ごとの元本返済 ③債券種類ごとの支払利息 ④新規債券の期首残高、発行金額、元本返済、支払利息
重要経営指標	①当該年度における企業債現在高合計 ②当該年度における一般会計負担額

下水道事業推計  
モデルとは  
I

概算モデルの  
使い方  
II

詳細モデルの  
使い方  
III

戦略モデルの  
使い方  
IV

よくある  
質問  
VI

参考資料  
VII



# 戦略モデルの使い方

# 戦略モデルの概要

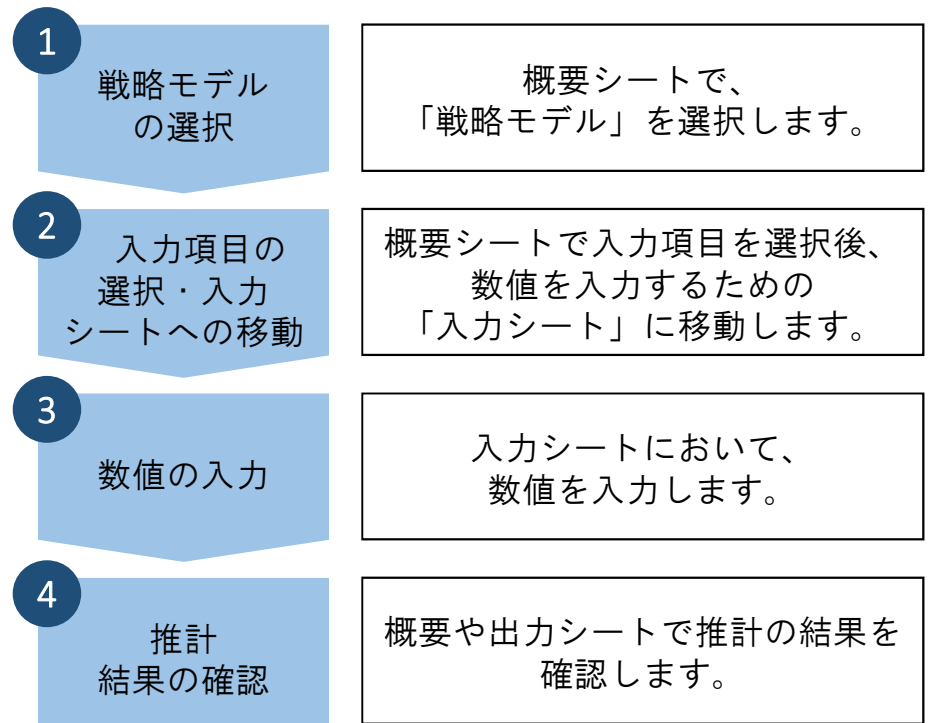
戦略モデルでは、将来計画や改善施策を策定し検証することが可能です。

## 戦略モデルの概要

	作業負担	モデルの目的
概算モデル	負担：無	初期的なあたりをつけるための概算収支の把握
詳細モデル	負担：小	将来計画を策定するための基礎となる収支の把握
<b>戦略モデル</b>	負担：中	将来計画や改善施策を反映した収支の把握

戦略モデルは、概算モデル又は詳細モデルで得られた結果を基に、各種施策推進を反映した推計を行うことで必要な改善施策、経営の健全化に向けた検討を行うモデルとなります。

## 戦略モデルの作業の流れ



# 1 戦略モデルの選択

概要シートにおいて、「戦略モデル」を選択してください。

## 概要シートへの移動



モデル方式・表示期間の選択のため、  
概要シートに移動してください。

法非適用の場合は「4. (法非適用) 概要シート」  
になります。

## 詳細モデルの選択

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定番号	3	1	2	3
設定名称	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
系長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値

}

工事負担金(財源内訳)	一致	一致	一致	手入力
他会計繰入金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力

### チャート設定

\*表示する期間を選択ください ⇒⇒⇒

2021年 ~ 2069年

概要シート右上の「設定管理」にある設定番号で  
「3」を選択してください。  
設定名称の部分に「戦略」と表示されます。

また、グラフの表示期間を変更する場合、  
「チャート設定」にて表示期間を選択してください。

## 2 入力項目の選択・入力シートへの移動

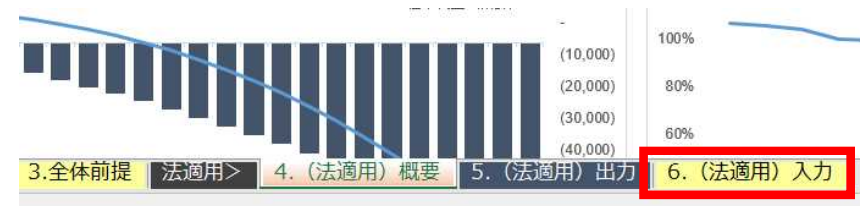
概要シートにて手入力をする項目の選択及び一部の項目の入力を行った後、数値を入力するための「入力シート」へ移動してください。

### 入力する項目の選択

3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収 長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	減価償却
支 管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
条 国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
収 建設改良費	手入力	平均値	平均値	手入力
支 管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業価値計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
<small>(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年限が必要になります。「6. 入力シート」より、ご入力ください。)</small>				
既存企業価値償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力
雨水処理負担金(営業収益)	手入力	平均値	平均値	手入力
委託工事収益(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値

概要シートの右上部分、設定管理の画面において入力する項目について、手入力を選択してください。  
また、建設改良費における補助金割合や国庫補助金の上限に関する項目は概要シートにて入力ください。

### 入力シートへの移動



数値を入力するための「(法適用or法非適用) 入力」シートをクリックしてください。

法非適用の場合は「6. (法非適用) 入力」シートになります。

### 3 数値の入力

「入力シート」において、単位に注意して黄色のセルに数値を入力してください。  
入力間違いがないかをシート左上の入力ミス等のチェックで確認してください。

#### 数値の入力

3条収支：総収益（営業収益）			
下水道使用料（使用料単価）			
使用料単価			
計算方法名称	テキスト	直近実績	
計算方法	1/3	3	Switch.Income.Sewage.Price.In
1 一回調整			
増加年	年	2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In
増加金額	+/- 円 / m3	15.0	Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In
2 微調整	+/- 円 / m3	-	-
3 直近実績	円 / m3	177.0	
受託工事収益			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.Cons.In
1 平均値	千円	9,695,713	
2 手入力	千円	-	-
受託工事収益(営業外収益)			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.ConsOther.In
1 平均値	千円	-	-
2 手入力	千円	-	-
国庫補助金			
計算方法名称	テキスト	平均値	
計算方法	1/2	1	Switch.Income.GovSubsidy.In
1 平均値	千円	65,543	
2 手入力	千円	-	-

⋮

太線に囲われたセルに示された項目  
(モデルでは黄色のセルになります)に  
数値を入力してください。  
単位は千円であることに注意してください。

#### 入力ミス等のチェック

Model G									
MLIT - DRAFT MODEL - Model Testing Incomplete									
6. (法適用) 入力									
西暦		<b>OK</b>	対象地域		2013	2014	2015		
期間ラベル	都道府県		大阪府	実績	実績	実績			
開始日	市町村		堺市	2013/1/1	2014/1/1	2015/1/1			
終了日				2013/12/31	2014/12/31	2015/12/31			
期間番号				1	2	3			
予測フラグ			47	FALSE	FALSE	FALSE			
単位：千円 (明記されていない限り)									
チェック	単位	行合計	定数						
3条収支：総収益（営業収益）									
下水道使用料（使用料単価）									
使用料単価									
計算方法名称	テキスト	直近実績							
計算方法	1/3	3	Switch.Income.Sewage.Price.In						
1 一回調整									
増加年	年	2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In						
増加金額	+/- 円 / m3	-	Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In						
2 微調整	+/- 円 / m3	-	-						
3 直近実績	円 / m3	177.0							
(参考) 使用料単価の計算結果									
1 一回調整	円 / m3			178.8	178.0	177.0			
2 微調整	円 / m3			178.8	178.0	177.0			
3 直近実績	円 / m3			178.8	178.0	177.0			

入力シート左上のG4セルが「OK」と  
表示されていれば、入力に問題はありません。  
「ERROR」と表示された場合には  
再度入力内容を確認してください。

# 4 推計結果の確認

概算モデルと同様に、概要には主要な項目の数値および図表が表示され、出力シートにはすべての項目の数値が表示されます。

## 概要シート

The '概要シート' displays a comprehensive table of data for 'Model G' from 2013 to 2023. The table is organized into several sections, including '経営成績' (Operating Performance), '財務状況' (Financial Status), and 'その他の項目' (Other Items). Each section contains multiple rows of data points, with columns for each year. Below the table, there are two visualizations: a bar chart titled '3年連続：経常利益' showing profit trends, and a line chart titled '経常収支比率' showing the ratio of operating income to operating expenses over time.

概要シートを選択し、重要項目の予測数値や主要指標の図表を確認してください。

## 出力シート

The '出力シート' provides a highly detailed view of the model's data. It includes a large table with columns for years from 2013 to 2023 and rows for numerous specific financial and operational metrics. The table is organized into sections such as '経営成績' (Operating Performance), '財務状況' (Financial Status), and 'その他の項目' (Other Items). The data is presented in a structured, grid-like format, allowing for a thorough review of all model outputs.

出力シートを選択し、各項目のより精緻な数値を確認してください。

# 戦略モデルで検討可能な事業収支の7つの設定

概算モデル又は詳細モデルで得られた推計結果に基づき、各種施策や方針の反映を可能とするものが戦略モデルです。参考として、7つの設定についてモデルの操作方法を紹介します。

- |               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| ① 未普及解消設定     | 普及率向上のための新設設備を実施した場合の事業収支の推計  |
| ② PPP/PFI導入設定 | PPP/PFI導入によって得られる費用削減効果の推計    |
| ③ 使用料改定設定     | 将来の下水道使用料値上げによる効果の推計          |
| ④ 維持管理費調整設定   | 管渠等の老朽化や各種施策によるコスト増減を加味した推計   |
| ⑤ 補助率改定設定     | 国費に関する補助率の削減を加味した推計           |
| ⑥ 財政施策設定      | 企業債、資本費平準化債等の発行条件の変更設定及び効果の推計 |
| ⑦ 特別利益設定      | 未利用資産やエネルギー活用などによる新たな収入設定の推計  |

# ① 未普及解消設定

## ポイント

- ✓ 目標とする普及率（現在処理区域内人口÷行政区域内人口）を達成するために必要な投資額を前提とした場合、事業収支への影響を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【4条収支】管渠（投資）、ポンプ場（投資）、処理場費（投資）

## 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
設定番号	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定名称	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収 長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支 管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
条 国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
収 建設改良費				
支 管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業債計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年限が必要になります。16.入力シート)より、ご入力ください。				
既存企業債償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

概要シートを選択し、  
設定管理内の「管渠（投資）」、  
「ポンプ場（投資）」、「処理場費（投資）」の項目  
について、設定方法を選択してください。

## 入力シート

4条収支: 資本的支出				
管渠(投資)				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	
1 平均値	千円	438,156,090		40,064,507
2 手入力	千円	-		-
ポンプ場(投資)				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	
1 平均値	千円	122,728,780		3,085,330
2 手入力	千円	-		-
処理場(投資)				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	
1 平均値	千円	196,274,619		4,906,289
2 手入力	千円	-		-
企業債計算(詳細手法)				
既存債券				
利率	%		1.0%	
新規債券				
債券1				
発行割合	%		40.0%	

概要シートにて選択したシナリオに基づき、  
上記赤枠内の前提数値を入力してください。

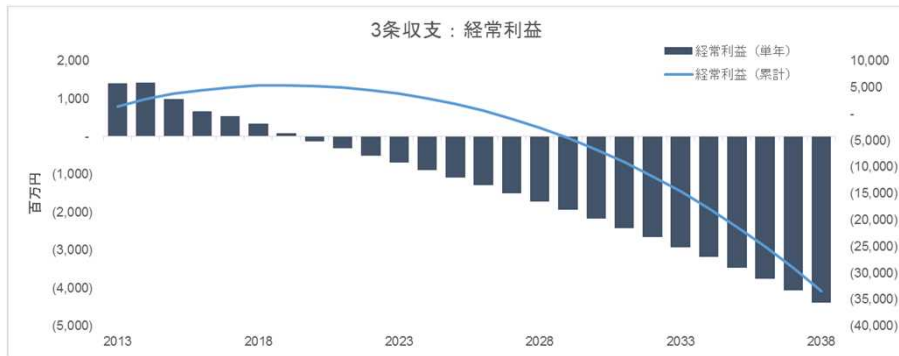


# ① 未普及解消設定

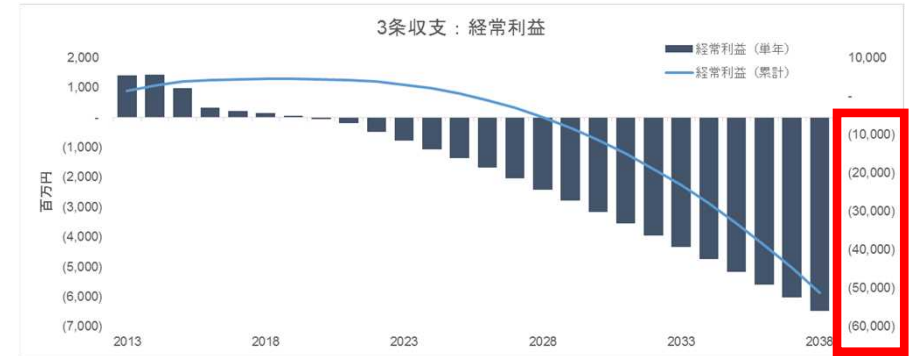
## ポイント

- ✓ 目標とする普及率（現在処理区域内人口÷行政区域内人口）を達成するために必要な投資額を前提とした場合、事業収支への影響を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【4条収支】管渠（投資）、ポンプ場（投資）、処理場費（投資）

### 投資金額反映前



### 投資金額反映後



未普及解消を目的とした管渠費、ポンプ場費、処理場費の増加による損益への影響を定量的に把握できます

未普及地域に下水道設備を新設する事業を行うとした場合、未普及解消に必要な投資額を入力することで、長期的な収支見通しを、より現実に即して捉える事ができるようになります。

## ② PPP/PFI導入設定

### ポイント

- ✓ PPP/PFI導入による効果を算定することが可能です（例：各種下水道施設の効率化・縮減による効果）
- ✓ 操作対象項目：【3条収支】管渠費、ポンプ場費、処理場費  
【4条収支】管渠（投資）、ポンプ場（投資）、処理場費（投資）

### 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
設定番号 設定名称	選択設定	設定1	設定2	設定3
	3	1	2	3
	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支 長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
条 国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
支 建設改良費				
管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
正業価計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年額が必要になります。「0.入力シート」より、ご入力ください。)				
既存企業価値選(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

### 入力シート

3条収支:総費用(営業費用)					
管渠費	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Loss Disposal In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	38,418,361		738,120	725,230
2 手入力	千円	-		809,130	757,493
				763,951	763,951
ポンプ場費	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Loss Pump In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	27,784,468		495,113	505,267
2 手入力	千円	-		612,607	537,662
				551,845	551,845
処理場費	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Loss Treatment In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	16,504,439		335,831	326,029
2 手入力	千円	-		330,768	330,876
				329,224	329,224

4条収支:資本的支出					
管渠(投資)	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Capex Disposal In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	726,837,054		10,584,132	12,357,575
2 手入力	千円	-		13,043,315	11,013,917
				10,966,925	10,966,925
ポンプ場(投資)	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Capex Pump In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	39,297,369		345,119	399,675
2 手入力	千円	-		964,319	523,107
				568,332	568,332
処理場(投資)	計算方法名称	テキスト	平均値	Switch Capex Treatment In	
計算方法	1/2				
1 平均値	千円	20,023,089		46,460	100,253
2 手入力	千円	-		605,794	230,319
				282,002	282,002

概要シートを選択し、設定管理内の「管渠（投資）」、「ポンプ場（投資）」、「処理場費（投資）」の項目について、設定方法を選択してください。

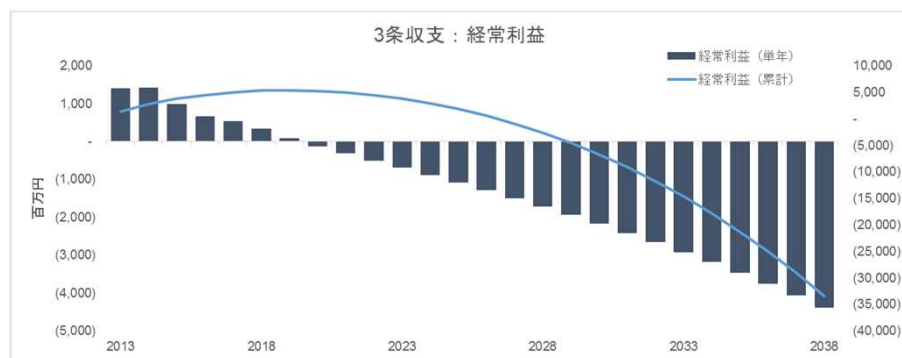
概要シートにて選択したシナリオに基づき、上記赤枠内の前提数値を入力してください。

## ② PPP/PFI導入設定

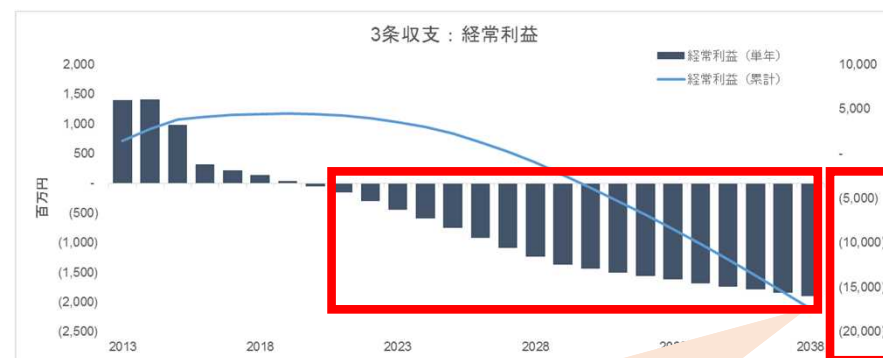
ポイント

- ✓ PPP/PFI導入による効果を算定することが可能です（例：各種下水道施設の効率化・縮減による効果）
- ✓ 操作対象項目：【3条収支】管渠費、ポンプ場費、処理場費  
【4条収支】管渠（投資）、ポンプ場（投資）、処理場費（投資）

PPP/PFI効果反映前



PPP/PFI効果反映後



PPP/PFI効果反映前と比べ、経常利益の傾向が変化しています。これは、ある時点からPPP/PFIを導入すると想定している為です。

管渠費、ポンプ場費、処理場費などを圧縮することにより、経常収支の数値を改善が想定できるとともに、経常収支の傾向もより正確に捉えることができます。

### ③ 使用料改定設定（操作編）

ポイント

- ✓ 3条収支の利益が悪化することへの対応として、使用料を上げることが考えられます。他のシナリオと組み合わせ、効果的な使用料改定の水準を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【概要シート】使用料単価

#### 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
設定番号	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定名称	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
収建設改良費				
支管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業債計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
<small>(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年限が必要になります。「B.入力シート」より、ご入力ください。)</small>				
既存企業債償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

概要シートを選択し、設定管理内の「使用料単価」欄にて設定方法を選択してください。

#### 入力シート

3条収支：総収益（営業収益）				
下水道使用料（使用料単価）				
使用料単価				
計算方法名称	テキスト		直近実績	
計算方法	1/3		3	Switch.Income.Sewage.Price.In
1 一回調整				
増加年	¥		2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In
増加金額	+/- 円 / m3		15.0	Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In
2 微調整	+/- 円 / m3			
3 直近実績	円 / m3		177	
受託工事収益				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	Switch.Income.Cons.In
1 平均値	千円	9,695,713		198,141 195,411 191,332
2 手入力	千円			
受託工事収益(営業外収益)				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	Switch.Income.ConsOther.In
1 平均値	千円			
2 手入力	千円			
国庫補助金				
計算方法名称	テキスト		平均値	
計算方法	1/2		1	Switch.Income.GovSubsidy.In
1 平均値	千円	65,543		2,068 1,188 1,117
2 手入力	千円			

概要シートにて選択したシナリオに基づき、上記赤枠内の前提数値を入力してください。

### ③ 使用料改定設定（操作編）

ポイント

- ✓ 3条収支の利益が悪化することへの対応として、使用料を上げることが考えられます。他のシナリオと組み合わせ、効果的な使用料改定の水準を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【概要シート】使用料単価

#### 概要シート

下水道使用料（使用料単価）												
使用料単価												
計算方法名称		テキスト	直近実績									
計算方法		1/3	3	Switch.Income.Sewage.Price.In								
1 一回調整			①									
増加年		年	2030	Income.Sewage.PriceChangeYr.OneAdj.A.In								
増加金額		+/- 円 / m3		Income.Sewage.PriceChangeAmt.OneAdj.A.In								
2 微調整		+/- 円 / m3										
3 直近実績		円 / m3	177.0									
②												
（ご参考）使用料単価の計算結果												
1 一回調整		円 / m3		178.8	178.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0
2 微調整		円 / m3		178.8	178.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0
3 直近実績		円 / m3		178.8	178.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0	177.0

#### 1. 「一回調整」の場合

本設定は、2069年までに一度の使用料改定をする設定です。

「一回調整」欄の増加年の右欄（J:20セル、①欄上部）に改定予定年を記載してください（元設定では2030年となっております）。改定予定年の下のセル（J:21セル）に、増加金額（増加分）を記載ください（20円増加の場合は「20」とご記載下さい）。25行目の「（ご参考）使用料単価の計算結果」以下に（②欄）、設定した使用料を確認できます。

#### 2. 「微調整」の場合

本設定は、2069年までの期間において、使用料調整を毎年手入力で行う設定です。

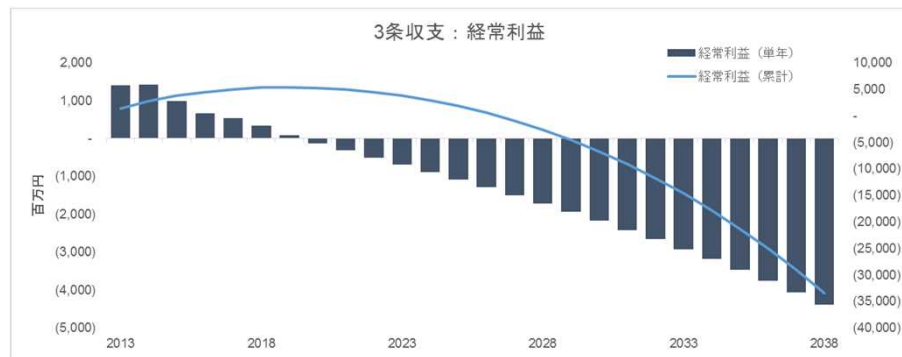
「微調整」右の黄色セル（K:22セル～B0:22セル）に、毎年分の使用料調整分を入力ください（調整不要分については記入不要です）。25行目の「（ご参考）使用料単価の計算結果」以下に（②欄）、設定した使用料を確認できます。

### ③ 使用料改定設定（効果分析編）

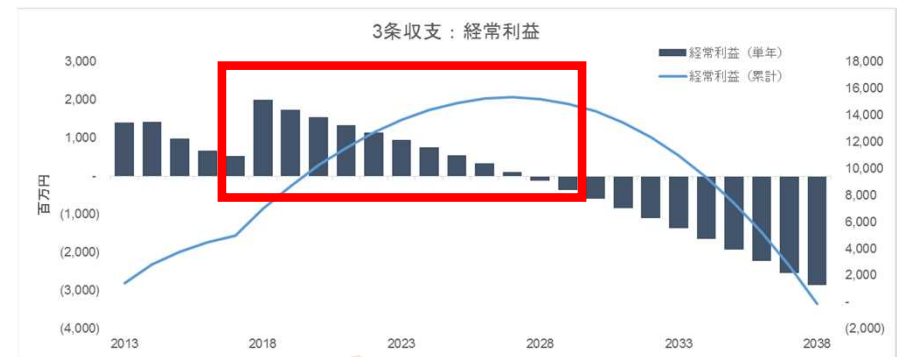
ポイント

- ✓ 3条収支の利益が悪化することへの対応として、使用料を上げることが考えられます。他のシナリオと組み合わせ、効果的な使用料改定の水準を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【概要シート】使用料単価

使用料改定前



使用料改定後（理想形）



既存の使用料+20円の使用料改定を2018年度に行った場合、従来2019年頃に赤字化が想定されていたところ、2030年頃まで黒字状態が続くことになると推計できます

使用料改定を行うことにより、経常利益の動きを改善することができます。また他の施策と組み合わせることにより、収支を根本的に改善することが期待できます

# ④ 維持管理費調整設定

## ポイント

- ✓ 日々の運営を効率化することによる効果を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【3条】管渠費、ポンプ場費、処理場費

## 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
設定番号	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定名称	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支 長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
条 国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
支 建設改良費	手入力	平均値	平均値	手入力
管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業値計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
<small>(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年額が必要になります。「0.入力シート」より、ご入力ください。)</small>				
既存企業値償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

概要シートを選択し、設定管理内の「管渠」、  
「ポンプ場」、「処理場費」の項目について、  
設定方法を選択してください。

## 入力シート

3条収支:総費用(営業費用)					
管渠費	計算方法名称	デキスト	平均値		
	計算方法	1/2		Switch Loss Drainage In	
	1 平均値	千円	38,418,361	738,120	725,230
	2 手入力	千円	-	809,130	757,493
				763,951	
ポンプ場費	計算方法名称	デキスト	平均値		
	計算方法	1/2		Switch Loss Pump In	
	1 平均値	千円	27,784,468	495,113	505,267
	2 手入力	千円	-	612,607	537,662
				551,845	
処理場費	計算方法名称	デキスト	平均値		
	計算方法	1/2		Switch Loss Treatment In	
	1 平均値	千円	16,504,439	335,831	326,029
	2 手入力	千円	-	330,768	330,876
				329,224	

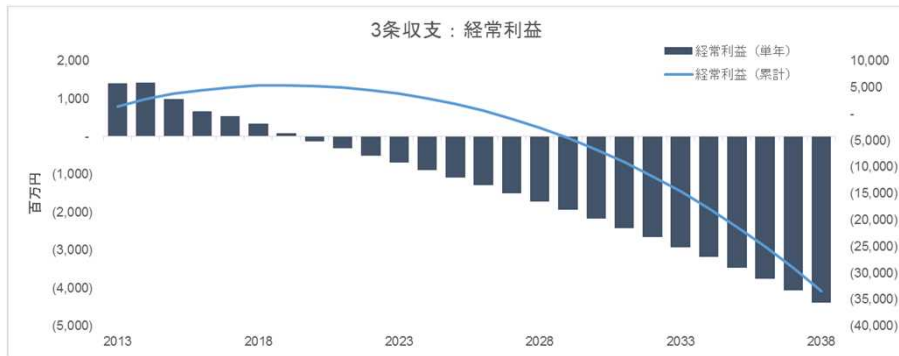
概要シートにて選択したシナリオに基づき、  
上記赤枠内の前提数値を入力してください。

## ④ 維持管理費調整設定

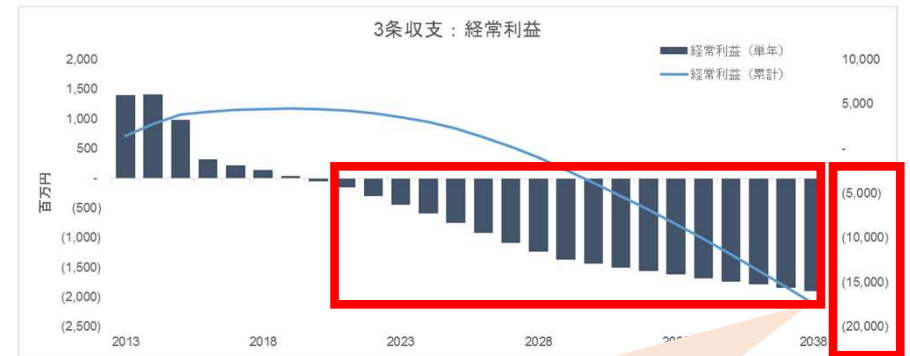
### ポイント

- ✓ 日々の運営を効率化することによる効果を把握することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【3条】管渠費、ポンプ場費、処理場費

### 維持管理費調整前



### 維持管理費調整後



維持管理費の抑制により、経常利益の傾向が変化しています。

管渠費、ポンプ場費、処理場費などを圧縮することにより、経常収支の数値を改善が想定できるとともに、経常収支の傾向もより正確に捉えることができます。



# ⑤ 補助率調整設定

## ポイント

- ✓ 今後、下水道事業における他会計補助金や国庫補助金に頼らない経営を検討する場合に、どの程度の対応が必要となるのかをシミュレーションするうえで役立ちます。
- ✓ 操作対象項目：【4条】国庫補助金

## 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
設定番号	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定名称	3 戦略	1 概算	2 詳細	3 戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
条 長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収 長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支 管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
条 国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
収 建設改良費	手入力	平均値	平均値	手入力
支 管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業債計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
<small>(詳細手法を選択する場合は、実行割合・利率・償還年数が必要になります。)*0.1(入札率)のみ、手入力ください。</small>				
既存企業債償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

概要シートを選択し、設定管理内の「国庫補助金（上限割合）」「国庫補助金（上限金額:千円）」について、右記に基づき設定をしてください。

## 概要シート 操作方法

1

国庫補助金  
(上限割合)

建設改良費全額に対する  
国庫補助金の上限割合を設定します。

国庫補助金  
(上限金額:千円)

建設改良費全額に対する  
国庫補助金の上限金額を設定します。

\*なお、国庫補助金の上限割合については、「割合」又は「金額」のいずれかが有効となるように数値を入力してください。

2

企業債  
計算手法

①で選択した設定を有効化する為  
「詳細手法」をご選択ください。

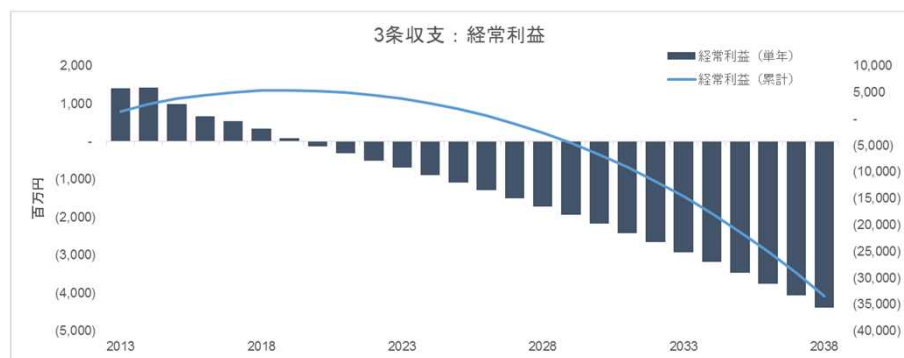
上記①および②について、設定をしてください。

## ⑤ 補助率調整設定

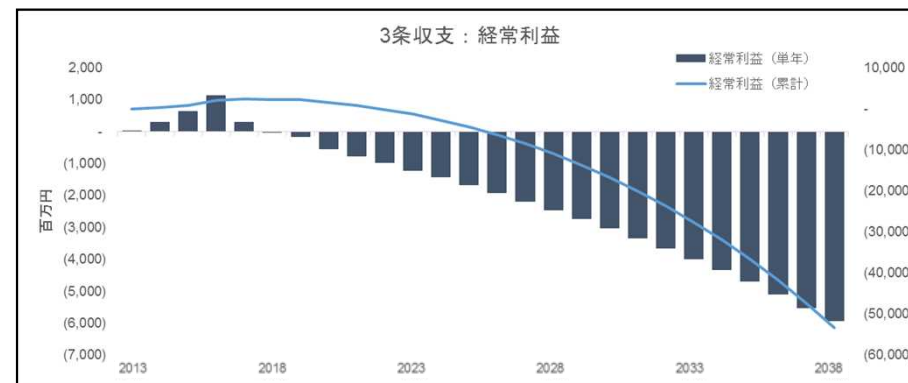
### ポイント

- ✓ 今後、多くの自治体で経営の改善が求められる中、国の予算は限られており、必ずしも十分に予算が配分されないリスクに備えることも必要です。本モデルでは補助率を調整し将来の影響をご覧いただくことが可能です。
- ✓ 操作対象項目：【4条】国庫補助金割合

### 補助率調整前



### 補助率調整後



建設改良費の財源における国庫補助金の割合を減少させることで、自治体は起債により建設改良費を賄う必要が生じます。起債により、毎年新たに支払利息が発生するため、その分経常利益は更に悪化することになります。上図では、補助率調整前よりも調整後の方が利益が悪化していることをしめしています。

# ⑥ 財政施策設定

## ポイント

- ✓ 単一的な企業債発行設定ではなく、より自治体の実態に即した企業債・公債の条件設定が可能です。
- ✓ 操作対象項目：【4条】企業債計算手法（入力シート）

## 概要シート

設定管理				
*黄色セルの前提条件を変更ください				
	選択設定	設定1	設定2	設定3
設定番号	3	1	2	3
設定名称	戦略	概算	詳細	戦略
3 使用料単価	直近実績	直近実績	直近実績	直近実績
柔長期前受金戻入(既存)	手入力	減価償却	手入力	手入力
収長期前受金戻入(新規)	手入力	減価償却	手入力	手入力
支管渠費	平均値	平均値	平均値	平均値
ポンプ場費	平均値	平均値	平均値	平均値
処理場費	平均値	平均値	平均値	平均値
業務費	平均値	平均値	平均値	平均値
総係費	平均値	平均値	平均値	平均値
減価償却費(既存資産)	手入力	毎年均等償却	毎年均等償却	手入力
減価償却費(新規資産)	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却	毎年均等償却
4 国庫補助金(上限割合)	仮定	50%上限	0%上限	仮定
柔国庫補助金(上限金額:千円)	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
収建設改良費	手入力	平均値	平均値	手入力
支管渠(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
ポンプ場(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
処理場費(投資)	手入力	平均値	平均値	手入力
企業債計算手法	詳細手法	簡易手法	詳細手法	詳細手法
<small>(詳細手法を選択する場合、発行割合・利率・償還年限が必要になります。「8.入力シート」より、入力ください。)</small>				
既存企業債償還(詳細手法)	手入力	簡易計算	簡易計算	手入力

## 入力シート 操作方法

既存債券				
(自動計算)				
利率	%	0.65%	Teki.CorpDebt.Ex.InterestRate.In	
(手入力)				
元本返済				
債券1	千円	-	-	-
債券2	千円	-	-	-
債券3	千円	-	-	-
債券4	千円	-	-	-
元本返済	千円	-	-	-
支払利息				
債券1	千円	-	-	-
債券2	千円	-	-	-
債券3	千円	-	-	-
債券4	千円	-	-	-
支払利息	千円	-	-	-
新規債券				
資本費平準化債				
期首残高	千円	-	-	-
発行金額	千円	-	-	-
元本返済	千円	-	-	-
期末残高	千円	-	-	-
支払利息	千円	-	-	-
ご参考:資本費平準化債の最大借入額				
企業債償還金(控除前)	千円	758,520,531	14,113,983	14,977,477
引:資本費平準化債の元本返済	千円	-	-	-
企業債償還金(控除後)	千円	758,520,531	14,113,983	14,977,477
引:減価償却費	千円	(816,743,861)	(8,508,105)	(13,235,193)
長期前受金戻入	千円	319,439,699	-	4,846,903
資本費平準化債の最大借入額	千円	261,216,370	-	5,863,374

概要シートを選択し、設定管理内の「企業債計算手法」の欄で「詳細手法」をご選択ください。

「6.(法適用)入力」シートに移動し、同シート内の「企業債計算(詳細手法)」の欄へ移動し、必要箇所を入力してください。

# ⑦ 特別利益設定

## ポイント

- ✓ 不動産売却等による一時的な収入等を反映することが可能です。
- ✓ 操作対象項目：固定資産売却益、固定資産売却代金

## 概要シート

雨水処理負担金(営業収益)	平均値	平均値	平均値	手入力
受託工事収益(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値
受託工事収益(営業外収益)	平均値	平均値	平均値	平均値
国庫補助金(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値
都道府県補助金(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値
他会計補助金(営業収益)	平均値	平均値	平均値	平均値
他会計繰入金(特別収益)	平均値	平均値	平均値	手入力
<b>固定資産売却益</b>	<b>手入力</b>	<b>手入力</b>	<b>手入力</b>	<b>手入力</b>
加地下水管理運営負担金	平均値	平均値	平均値	手入力
他会計補助金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力
<b>固定資産売却代金(4条収支)</b>	<b>平均値</b>	<b>平均値</b>	<b>平均値</b>	<b>平均値</b>
加地下水建設費負担金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力
都道府県補助金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力
都道府県補助金(財源内訳)	一致	一致	一致	手入力
工事負担金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力
工事負担金(財源内訳)	一致	一致	一致	手入力
他会計繰入金(4条収支)	平均値	平均値	平均値	手入力

「4. (法適用) 概要」シートを選択し、設定番号を「2」または「3」に変更した上で「固定資産売却益」または「固定資産売却代金」を手入力に変更してください。

## 入力シート 操作方法

3条収支: 総収益(特別収益)				
他会計繰入金				
計算方法名称		平均値		
計算方法				
1 平均値	手入力	-	1 Switch Income OtherAccount In	
基準内	手入力	-	-	-
基準外	手入力	-	-	-
2 手入力	手入力	-	-	-
固定資産売却益				
計算方法名称	手入力			
計算方法	手入力			
1 平均値	手入力	451,696	2 Switch Income GoS of PPE In	
2 手入力	手入力	-	65 451,631	

4条収支: 資本的収入				
固定資産売却代金				
計算方法名称		平均値		
計算方法				
1 平均値	手入力	8,313,821	1 Switch Capito SalesFixedAsset In	
2 手入力	手入力	-	258,966 119,105	189,036 154,070

「6. (法適用) 入力」シートに移動し、「固定資産売却益」または「固定資産売却代金」の「2.手入力」の右側の黄色セルに増加分の収益を入力してください。

# よくあるご質問

# よくあるご質問

種類	質問	回答
結果表示の不具合	市町村を選択したところ、推計結果が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法適用企業が法非適用のシートを見た場合や、法非適用企業が法適用のシートを見た場合は数値が表示されません。法適用・法非適用の確認欄にて自分たちの自治体が法適用か法非適用か確認したうえで当該シートを参照してみてください。</li> <li>2. 本モデルの過去実績のデータは公営企業年鑑の「公共下水道」を参照しているため、「農業集落排水」のみの自治体については数値が表示されません。</li> </ol>
モデルの対象範囲	特定環境保全公共下水道や農業集落排水施設についての推計結果を確認したい	<p>本モデルは、公共下水道データのみを対象としたものです。特定環境保全公共下水道や農業集落排水施設については、本モデルとともに公表されているそれぞれのモデルをご利用ください。</p> <p>ただし、ただし、本来公共下水道用に作成されたモデルとなりますので、推計結果の正確性には限度がある旨ご注意ください。</p>
データの入力方法	詳細・戦略モデル操作時に、入力シートにどのような数値を入力すべきなのか分からない	<p>入力シートへの数値入力については、本マニュアル24ページをご覧ください。各項目について、入力すべき数値の解説をご案内しています。</p>
推計結果の活用	総務省経営戦略に直接利用してよいのか	<p>本モデルで得られた長期収支の推計結果は、総務省経営戦略に直接利用するのではなく、あくまで本モデルの数値を参考にしながら、各自治体の検討事項を加えたものとしてください。</p>
推計結果の活用	概算モデル、詳細モデル、戦略モデルの結果を同じグラフ内で比較したい	<p>本モデルの仕様上、同一グラフ内で異なるモデルの結果を表示することはできません。比較を行う場合は、概算モデル、詳細モデル、戦略モデルなどで得られた結果をそれぞれ保存し、保存データをもとに比較を行ってください。</p>

# 參考資料

# 各項目の算出方法について（法適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

3条収支	営業収益	下水道使用料	数量（有収水量） *単価（使用料単価）	人口増減に応じて変動 選択可能メソッド ①一回調整 ②微調整 ③直近実績	
		雨水処理負担金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		受託工事収益（営業収益）	実質金額	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力	
		その他（営業収益）	*インフレ 平均値（0値除く移動平均）		
		受取利息及び配当金	平均値（0値除く移動平均）		
	営業外収益	受託工事収益（営業外収益）	実質金額	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力	
		国庫補助金	*インフレ 選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		都道府県補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		他会計補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		長期前受金戻入	+ 既存資産（過去実績分）	選択可能メソッド ①減価償却費（固定資産の減価償却費見合い） ②平均値（0値除く移動平均） ③手入力	
			+ 新規資産	選択可能メソッド ①減価償却費（固定資産の減価償却費見合い） ②手入力	
		資本費繰入収益	平均値（0値除く移動平均）		
		雑収益	平均値（0値除く移動平均）		
		特別収益	他会計繰入金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力	
			固定資産売却益	選択可能メソッド ①売却益=0（発生益なし） ②手入力	
その他（特別収益）	発生しない				



# 各項目の算出方法について（法適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

3条収支 (続き)	営業費用	管渠費	実質金額	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力
			×インフレ	
		ポンプ場費	実質金額	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力
			×インフレ	
		処理場費	実質金額	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力
			×インフレ	
		受託工事費 (営業費用)	平均値 (0値除く移動平均)	
			×インフレ	
		業務費	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力	
			×インフレ	
		総係費	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力	
			×インフレ	
		減価償却費	+ 既存資産 (過去実績分)	選択可能メソッド ① 毎年均等償却 ② 手入力
			+ 新規資産	選択可能メソッド ① 毎年均等償却 ② 手入力
資産減耗費	平均値 (0値除く移動平均)			
流域下水管理運営費負担金	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力			
	×インフレ			
	その他 (営業費用)	平均値 (0値除く移動平均)		
営業外費用	支払利息	企業債利息	選択可能メソッド ① 簡易 (0値除く移動平均) ② 詳細	
		その他利息	企業債利息を除く支払利息の 0値除く移動平均	
	企業債取扱諸費	平均値 (0値除く移動平均)		
	受託工事費 (営業外費用)	平均値 (0値除く移動平均)		
		×インフレ		
	繰延勘定償却	平均値 (0値除く移動平均)		
	その他 (営業外費用)	平均値 (0値除く移動平均)		
	特別損失	その他 (特別損失)	発生しない	

# 各項目の算出方法について（法適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

4条収支	資本的収入	企業債	+ 建設費充当分	建設改良費 引く：国庫補助金 引く：都道府県補助金 引く：工事負担金 引く：他会計繰入金 引く：その他（建設改良費の財源内訳）	
			+ 建設費以外充当分	平均値（0値除く移動平均）	
		他会計出資金	平均値（0値除く移動平均）		
		他会計借入金	平均値（0値除く移動平均）		
		他会計補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		固定資産売却代金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
			×インフレ		
		国庫補助金	建設改良費見合い	建設改良費	
			キャップ（上限）	×国庫補助金割合	キャップ値 1（上限割合）
					キャップ値 2（実質金額）
			選択可能メソッド ①50%上限 ②0%上限 ③仮定（手入力）		
	都道府県補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力			
	工事負担金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力			
		×インフレ			
	その他（資本的収入）	発生しない			

# 各項目の算出方法について（法適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

4条収支 (続き)	資本的支出	建設改良費	+ 管渠費	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力 ×インフレ		
			+ ポンプ場費	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力 ×インフレ		
			+ 処理場費	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力 ×インフレ		
			+ 流域下水道建設費負担金	選択可能メソッド ① 平均値 (0値除く移動平均) ② 手入力 ×インフレ		
			+ 建設利息	平均値 (0値除く移動平均) ×インフレ		
			+ その他 (建設改良費)	平均値 (0値除く移動平均) ×インフレ		
		企業債償還金	② 詳細	+ 既存分 (過去実績分)	選択可能メソッド ① 簡易 (0値除く移動平均) ② 手入力	
				+ 新規分	元利均等返済 (利率と返済期間に基づく) + 平準化債の手入力分	
		他会計からの長期借入金返還金	平均値 (0値除く移動平均)			
		他会計への支出金	平均値 (0値除く移動平均)			
その他 (資本的収入)	発生しない					

# 各項目の算出方法について（法非適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

3条収支	営業収益	下水道使用料	数量（有収水量） *単価（使用料単価）	人口増減に応じて変動 選択可能メソッド ①一回調整 ②微調整 ③直近実績	
		雨水処理負担金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		受託工事収益（営業収益）	実質金額	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力	
		その他（営業収益）	*インフレ 平均値（0値除く移動平均）		
		営業外収益	国庫補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力	
		都道府県補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		他会計補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
	営業費用	職員給与費	平均値（0値除く移動平均）		
		受託工事費（営業費用）	平均値（0値除く移動平均）		
		流域下水管理運営費負担金	*インフレ 選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力		
		その他（営業費用）	+ 管渠費	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力 *インフレ	
			+ ポンプ場費	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力 *インフレ	
			+ 処理場費	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力 *インフレ	
	営業外費用	支払利息	+ その他（管渠費等を除く）	平均値（0値除く移動平均）	
			地方債利息	選択可能メソッド ①簡易（0値除く移動平均） ②詳細	
その他利息			企業債利息を除く支払利息の 0値除く移動平均		
その他（営業外費用）		平均値（0値除く移動平均）			
特別損失	その他（特別損失）	発生しない			

# 各項目の算出方法について（法非適用）

本モデルにおける各項目の算出方法は以下のとおりです。

4条収支	資本的収入	地方債	+ 建設費充当分	建設改良費 引く：国庫補助金 引く：都道府県補助金 引く：工事負担金 引く：他会計繰入金 引く：その他（建設改良費の財源内訳）		
			+ 建設費以外充当分	平均値（0値除く移動平均）		
		他会計出資金	平均値（0値除く移動平均）			
		他会計借入金	平均値（0値除く移動平均）			
		他会計補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力			
		固定資産売却代金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力			
			*インフレ			
		国庫補助金	建設改良費見合い	建設改良費	*国庫補助金割合	
			キャップ（上限）	キャップ値1（上限割合）	選択可能メソッド ①50%上限 ②0%上限 ③仮定（手入力）	
				キャップ値2（実質金額）		
		都道府県補助金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力			
		工事負担金	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力 *インフレ			
その他（資本的収入）	発生しない					
資本的支出	建設改良費	選択可能メソッド ①平均値（0値除く移動平均） ②手入力 *インフレ				
		地方債償還	選択可能メソッド ①簡易（0値除く移動平均） ②詳細		+ 既存分（過去実績分）	選択可能メソッド ①簡易（0値除く移動平均） ②手入力
					+ 新規分	元利均等返済（利率と返済期間に基づく） + 平準化債の手入力分
	他会計からの長期借入金返還金	平均値（0値除く移動平均）				